

フェルメールとレンブラント —17世紀オランダ黄金時代の巨匠たち—

と き／10月24日(土)～1月5日(火) 9:00AM～5:00PM
 ところ／京都市美術館 (祝日以外の月曜と12/28～1/1 休館)
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4107

黄金時代といわれる17世紀オランダは、商業の発展によって芸術文化の面でも大きく変化し、絵画は宗教画からの離脱と日常への関心によって新たな時代を迎えた。またこの時代は、女性がひとりの人間として認知され活躍し始める時代でもあり、絵画の中で女性は生き生きと描かれるようになった。それまでの内に籠る生活から、主役として生きる“世界劇場の女性”の登場である。本展では、ニューヨーク、ロンドン、アムステルダム の各国立美術館を中心に、個人蔵を含めて約60点の絵画で17世紀オランダ絵画の世界を紹介する。なお、フェルメール〈水差しを持つ女〉やレンブラント〈ベローナ〉は日本初公開の貴重な作品。

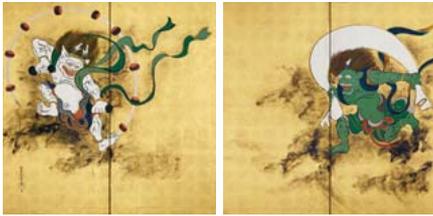


ヨハネス・フェルメール
 「水差しを持つ女」1662年頃
 (メトロポリタン美術館蔵)

琳派400年記念展あれこれ

琳派・京(みやこ)を彩る

京都国立博物館 (～11月23日(祝) 祝日以外の月曜休館)



酒井抱一「風雷神図屏風」
 (東京・出光美術館蔵)



尾形光琳「八橋時絵螺鈿細箱」
 (国宝) (東京国立博物館蔵)

琳派400年記念 琳派イメージ展

京都国立近代美術館 (～11月23日(祝) 祝日以外の月曜休館)



神坂雪佳図案、
 神坂祐吉作
 《鹿図時絵手元筆筒》

京都画壇にみる「琳派のエッセンス」— ユーモアとウィット

京都府立堂本印象美術館 (～11月26日(日) (11/23(祝) 開館 / 11/24休館)



堂本印象「風神」1961年

琳派からの道 神坂雪佳と山本太郎の仕事

美術館「えき」KYOTO
 (～11月29日(日) 会期中無休)



山本太郎「マリオ&ルイージ図屏風」

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1								
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火									
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111		琳派400年記念「琳派イメージ」展																																						
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151		特別展覧会「琳派誕生400年記念 琳派 京(みやこ)を彩る」																																						
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	近衛家王朝のみやび 陽明文庫の名宝5 (～11/15) 再興十周年記念 洛陽三十三所-観音堂場の再興- (～11/23) (公財)京都市埋蔵文化財調査研究センター設立35周年記念 和魂漢才-京都「交流」の考古学- (11/28～1/11) 祇園祭-鯉山の名宝- (～11/8) 祇園祭-木賊山の名宝- (11/14～1/24)																																						
	3F	レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展 ～日本初公開「ダヴォラ・ドーリア」の謎～																																						
	4F																																							
	5F	京の名工展 いけばな展	石井麻子の ニットアート展					第49回 心象書展					第17回雪梁舎 フィレンツェ賞展					第27回 工芸美術創工会展					第2回京都精華女子 中学高等学校主催 精華美術展																	
	6F		第34回 京仏具四人展					絵師 井堂雅夫 琳派を画く					第53回龍門社 選抜書道展					吉田手織工房 絲織会 第4回作品展																						
別館	貴久樹 天然展2015					イベント					音楽会					カラコロン 京都10周年					アトリエエンジェル スタジオガラスファン					音楽会					読友神楽戯技 会作品展示					音楽会				

東洋と西洋の間の3つの展覧会 第2弾
アントーニオ・ペドレッティ “無限の風景”

と き／10月22日(木)～11月8日(日)

ところ／ギャラリー知

京都市中京区寺町通丸太町東入ル南側 ☎075-585-4160

アントーニオ・ペドレッティ作家プロフィール

1950年イタリア北部、ヴァレーゼ県ガヴィラーテ生まれ。

ミラノ、スフォルツァ城絵画学校に学び、ブレラ美術大学中退。

16歳ですでに個展をヴァレーゼのカ・ヴェージャ・ギャラリーで開く。

展示した作品はコテで描かれた風景、農家、花々、林、沼など。湖の畔で生まれたペドレッティにとって沼はそれ以降コンスタントなテーマになる。

イタリア、ヨーロッパ各地で個展、作品発表を続ける。

ギッジャーニ・ギャラリーの回顧展を境目に公の場から姿を消し、自身の内面を見つめ直す。

その結果新しい作風が生まれる。波と雲、光で構成される架空の風景。

この1970年代後半の作品は、ジャクソン・ポロックを彷彿とさせる“gesto”、しぐさが重要なポイントになり、アクリル板に描かれている。

'80年代半ばには現代的アヴァンギャルドに対する欲求を捨て、ペドレッティは原点の〈自然の感覚〉に戻るが、そこには彼にとっての三大巨匠であるジョン・コンスタブル、ジョヴァンニ・セガンティーニ、エンニオ・モルロッティの影響が色濃く出ている。

後援・協力：イタリア文化会館一大阪

後 援：在大阪イタリア総領事館、京都市、伊日財団、
ルイーダ・ルッソ資料連盟



アメリカのアール・ブリュットの代表的作家
ドワイト・マッキントッシュ日本初個展

と き／10月23日(金)～11月15日(日) 1：00PM～7：00PM

ところ／ギャラリー宮脇(月曜休廊)

京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

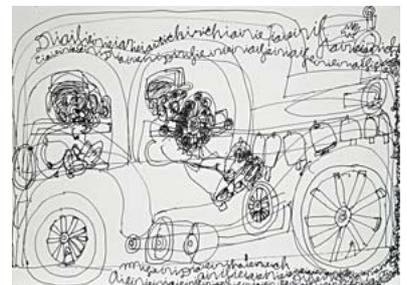
ドワイト・マッキントッシュ(Dwight Mackintosh 1906～1999)は、出生直後の脳損傷による重度障害で、半世紀以上もの入院生活を余儀なくされたが、72歳になって病院外での生活をはじめてから、おびたしい数のドローイングを制作した。

ペンを持つと陶酔したようになり(興奮状態で描画の最中に気を失うことすらある)、手をグルグルと回転させ、特徴的な線で人物、動物、乗り物などを描く。余白や裏面にはしばしば判読不能の文字が書き連ねられる。図像と文字の混沌とした融合には、事物と言葉の区別なしに線の行方みに純粹に取り憑かれ戯れる幼児のような心的状態がみてとれる。それは完全に自己完結した表現であり、そこには他の芸術作品や既存の文化の影響はない。無垢な段階に腰を据えたまま老年を迎え描くことをはじめたマッキントッシュは、通常人が自我形成に伴い手放してしまう創造的資源を自由に耕すというチャンスを獲得した稀有な画家である。

アメリカのアール・ブリュットの代表的作家の待望の日本初個展。約30点。



〔無題-3〕38×56cm 1995年
紙にインク



〔無題-1〕28×38.5cm 1997年
紙にインク



〔無題-2〕44.5×58.7cm 1980年
紙にテンペラ、インク

〔今月の展覧会より〕

第2回「ジャパニーズ・モダン 江戸から現代へ」 漆・陶・ガラス造形作家三人展

と き／10月24日(土)～11月23日(月・祝) 12:00～6:00PM
ところ／ギャラリー白川(月曜休廊/14日臨時休/23日(祝)開廊)
京都市東山区祇園下河原上弁天町
(東山安井信号東入ル南下ル) 430-1 ☎075-532-2616

日本の伝統的なデザインや素材・技術を用いて再構成された現代美術を紹介していくシリーズ、「ジャパニーズ・モダン 江戸から現代へ」の第2回目です。今回は、栗本夏樹(漆造形) 大平和正(彫刻家) 石川くるみ(ガラス造形)の3人の作品をご紹介します。展示作品は現代の漆造形作家を代表する栗本夏樹氏は、代表作シリーズ・上杉の胴服(車のボンネットを素材に漆で装飾した現代社会を反映させた作品)等を中心に小品も少し展示致します。また、従来の陶芸の域を超えた環境造形を手がけることで焼き物の可能性を広げてきた大平和正氏は、「銀彩」シリーズ「風器」と「球体」シリーズの小品を。アメリカでKurumi Glassで知られるガラス造形作家・石川くるみさんは、ジャパニーズ・モダンを取り入れた最新作を展示いたします。



石川くるみ(ガラス造形)

◆第3回「ジャパニーズ・モダン 江戸から現代へ」片山雅史展—楽園へ/メメント・モリ(11月28日から12月23日開催)では、11月29日(日)午後3時から展覧会の主題をテーマにした作曲家池田明子氏と片山氏との音楽と美術によるコラボレーションを発表致します。詳しくは、ホームページに掲載。または、お電話でお問い合わせください。(無料)



大平和正(彫刻家)



栗本夏樹(漆造形)

日下部直起展 ～無窮への旅～

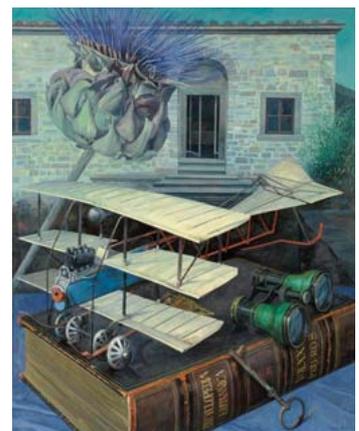
と き／11月3日(火)～11月8日(日) 12:00～7:00PM
ところ／ギャラリーヒルゲート
京都市中京区寺町三条上ル ☎075-231-3702

シチリアとトスカナの取材を中心に、風化していくモノたちが再生していくこれまでのテーマから、より写実性を増しながら、その奥に潜むPoem(詩)を導き出したいと思って制作を重ねた。

出会ったモノたちは偶然であった。骨董市の片隅でひっそりと佇んでいたブリキの乗り物や古い皮本、路地の奥で不意に現れた扉や壁。何かを語ろうとしてじっと沈黙していた日々。偶然の出会いが必然の光に包まれて、新しい刻を生み出していく。それは「無窮への旅」であった。150号の大作からSMまで、テンペラを下地とした油彩25点、水彩10点、合計35点の出品予定。ギャラリーヒルゲートでは8回目の個展となる。

略歴

- 1982年 金沢美術工芸大学油絵科卒
- 1995年 東京セントラル美術館油絵大賞展 佳作賞
- 1997年 二紀展 二紀賞
(’99同人優賞、’01宮本賞、’02損保ジャパン美術財団奨励賞、’05会員賞、’11会員優賞賞)
- 2000年 伊豆美術祭展 (IZUBI)、佳作賞(’01佳作賞、’02佳作賞)
- 2004年 文化庁芸術家在外研修(フィレンツェ)
- 2006年～2010年 LIONCEAUX展(日本橋三越本店)
- 2008年 Proposte dal Giappone展(ミラノ)
- 2009年/2012年 個展(日本橋三越本店)
- 2012年～2014年 われらの地平線展(日本橋三越本店)
- 2013年/15年 La luce nel tempo(フィレンツェ)



「ヴィンチ村の夢」
油彩・テンペラ 150F

伊藤髟耳作品展(1F)／はっつび展(2F)

と き／11月14日(土)～11月23日(月・祝) 10:00AM～5:30PM
ところ／ギャラリー鉄斎堂(会期中無休/最終日は16:00まで)
京都市東山区新門前通東大路西入ル梅本町262 ☎075-531-6164

院展の中で異彩を放つ画家、伊藤髟耳。己の道をただひたすらに前向きに歩む。そんな先生が好きで此度の展覧会を開催させて頂きました。

絵を観る時、描かれた絵の中に画家の気持ちがどれだけ込められているか、その気持ちが絵のオリジナリティーに結びつくと思い観ております。

絵の中には音楽と同じように強弱があり、早い遅いがあります。例えば絵具の色で強弱をつけたり、線の強さや速さで絵の深みが増し絵画とは非常に複雑で面白いものだと思って観ております。以前、私の敬愛する先生がうすっぺらな絵は嫌いだと言っておられたのを思い出します。

尚、2階では「第7回はっつび展」を同時開催させて頂きますので何卒宜しく願い申し上げます。

はっつび展：伊藤髟耳・石村雅幸・小田切恵子・木村恵子・杉山 紅・高田峻典・出口直介・野崎和弘・林 克彦・安恵隆司



「仲間とおつきみ」伊藤髟耳



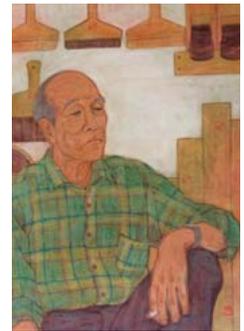
「サイ」野崎和弘



「柿紅葉」杉山 紅



「何を想う」高田峻典



「匠」小田切恵子

嘯矢祭一其之九十六ー 植葉香澄展

と き／11月14日(土)～11月23日(月・祝) 10:00AM～6:00PM
ところ／大雅堂/1F展示室(会期中無休)
京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7388

この度、「嘯矢祭一其之九十六ー 植葉香澄展」を開催致します。

日本の伝統的な紋様や技術を生かし、艶やかな質感を生み出す陶芸作家。豊かな発想で愛らしい魅力の世界を繰り広げます。代表シリーズ、キメラも出展予定となります。是非この機会にご高覧下さいませ。

〈植葉さんの健闘を祈る〉

「熟成されて紋様ともなった伝統的な視覚象徴をまとった、数奇な生体に潜む力を鮮やかに具現して見せる陶彫。それはポップ調を漂わせてキラキラするが、キメラのような神話なども登場して国際性を増し、現代的な香りもする。次は何が出て来るのだろうか」(原田平作)

〈作家在廊予定〉

会期中の土曜・日曜・祝日 在廊予定(都合により変更の場合あり)

〈出展作品について〉

陶芸作品、10点程を予定

植葉香澄 略歴

2001年 京都市立芸術大学美術学部陶芸科卒業
2002年 京都市産業技術研究所 陶磁器コース終了
2003年 京都府陶工高等技術専門学校 図案科卒業
2006年 ギャラリー器館にて初個展
2008年 パラミタ陶芸大賞展
2009年 装飾の力展(東京国立近代美術館工芸館)
2010年 TakeActionFoundationで奈良良智さんと共同制作
(茨城県陶芸美術館)
2011年 京都府文化賞奨励賞
2012年 京都府芸術新人賞
2015年 京都新鋭選抜展毎日新聞賞受賞
その他グループ展・個展多数



「キメラ」22.5×40×10cm

野村芳光展

と き／11月17日(火)～22日(日) 12:00～7:00PM
ところ／綾小路ギャラリー武
京都市下京区綾小路高倉東入 ☎075-351-4787

本展では、「都をどり」をはじめとする舞台背景の画家として活躍した野村芳光(1870-1958)が、本業のかたわらで描き続けた写生画・人物画・戯画など、小品ながらさまざまな分野の絵を展示します。

野村芳光は1870(明治3)年に元紀州藩士の家に生まれ、10才にして和歌山から大阪に出て、浮世絵師の野村芳国(初代)のもとに弟子入りした。16才の時、初代芳国の弟で京都在住の二代目芳国のもとに移る。二代目芳国は寺町錦小路上ルに店をかまえて、1872(明治5)年に始まる「都をどり」の背景画にたずさわるとともに、京極界限の芝居小屋の看板や背景画を一手に引き受けていた。

芳光は、1893(明治26)年、当時京都に滞在していたフランスの諷刺画家ジョルジュ・ビゴーに見出され、高台寺近くのビゴーの寄宿先に通って西洋絵画の手ほどきを受けた。ビゴーは芳光にフランスで絵画を学ばせようとしたが、おそらくその計画を止めるために、芳国は急いで芳光を長女の婿として迎え入れた。

それ以後、芳国・芳光の親子は力を合わせて「都をどり」の背景に遠近法を使った画期的な舞台を作りだしたり、芝居の背景画や、当時日本の主要都市に建てられた「パノラマ館」のパノラマ絵の分野で活躍することになる。また、1897(明治30)年、稲畑勝太郎の功績によって京都は日本での映画誕生の地となったが、その初期の公開映写会にも二人が協力していた形跡がある(芳国の実子、野村芳亭は松竹蒲田撮影所の初代所長になっている)。

1903(明治36)年に芳国が亡くなり、その3年後に妻も他界すると、芳光は野村の本家を離れて独立し、「都をどりの背景画家」として生涯を捧げることになる。1958(昭和33)年に88才で死去。その仕事は「川面美術研究所」に受け継がれている。本展はささやかなものですが、かつての京都の花街の踊り・芝居などに想いを馳せるの一助となることを願っています。



フルイミエコ展「あけくれ」

と き／11月28日(土)～12月6日(日) 11:00AM～6:00PM
ところ／御池画廊
京都市北区小山上総町20-2 ☎075-492-3083

日々の生活の些細な出来事。当たり前のように慣れ親しんでいる存在。小さなモノ・コト。そういうものの中から、生まれてくる感情を紡ぐように絵画制作をしています。

油絵のマチエールと、重なりによって生まれる色彩の表情に惹かれるものがあり、描きつつイメージが立ち上がる様を楽しんでいます。

このたびは御池画廊において油彩作品約25点を展示させていただきます。

フルイミエコ



フルイミエコ プロフィール

- 1968 大阪生まれ(本名 古井三重子)
- 1990 京都市立芸術大学美術学部美術科卒業
- 2013 個展「ひかりのありか」(御池画廊/京都)
個展「ひかりのありか」(T-BOX/東京)
- 2014 個展「宵の星々、明けの月」・木のある暮らし展(鳥取)
個展「地図のない旅」(T-BOX/東京)
- 2015 企画「今週の光内展+今週のフルイ展」(T-BOX/東京)
- 現在 京都市西京区在住
アトリエ苗主宰/日本臨床美術協会認定 臨床美術士2級



会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1					
		曜		①	月	②	水	木	金	土	③	月	火	水	木	金	土	④	月	火	水	木	金	土	⑤	⑥	火	水	木	金	土	⑦	⑧	月	火				
企	画廊きよみず	日本画常設展																																					
企	画廊後素堂	貸画廊受付中																																					
企	画廊彩雲	展示休廊(土日祝:営業休み)																																					
企	画廊たづ	日本画常設展																																					
貸	画廊ビーナス																																						
貸	ぎおんギャラリー八坂	洋服とアクセサリ-廣瀬光美(不定休)												染め彩々(手描ローケツ染) 藍染 越智由利						伊藤光男 布墨画 猫・ふくろう・地蔵																			
貸	ギャラリーM	パリ島を描く展(松本祐佳)												紅葉の京を描く展(松本祐佳)																									
貸	ギャラリーカト	1F	展二	月曜会展						嵐彩会展						石田益三個展						ポピンレース展																	
貸	ギャラリーカト	2F	展四	第10回 2005年度卒 瓜生会日本画展						中井潔個展						浅田ようこ水彩画展						研義治個展																	
企	ギャラリーかもがわ	谷本暁雄作品展 -スタンドグラスを中心に-(火曜休廊)												竹内淳子展 -いきものがたり-(日本画)(火曜休廊)																									
貸	ギャラリー祇園小舎	第32回 楽々悠々市						大橋利彦 拓本とその 素材展						日本画風 紙画展						第7回みねの会展						清水光美 アトリエS展													
貸	ギャラリー吉象堂	第26回 S A B A T O展						丸池'69展						鶴田和敏 石田礼子 展						中原絹代展																			
貸	ギャラリーCreate洛	金剛仏子公泉と花天人親美展(彫刻・水墨画) 稲垣直樹個展(フレスコ画)																																					
貸	ギャラリー恵風	1F	展	「伝える石」 出原司・中馬泰文 大坂秩加・清水美三子・竹内佳奈						竹内子尋展(平面)						伊藤学美展(平面) 11/23(月)休廊																							
貸	ギャラリー恵風	2F	展	TOH展(日本画グループ展)						日本版画院 京都支部展						三澤喜美子展(平面)						馬淵哲展(平面)																	
貸	ギャラリー佐野	TOH展(日本画グループ展)						日本版画院 京都支部展																															
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1					
		曜		①	月	②	水	木	金	土	③	月	火	水	木	金	土	④	月	火	水	木	金	土	⑤	⑥	火	水	木	金	土	⑦	⑧	月	火				
企	ギャラリー三条祇園																																						
企	ギャラリーい思文閣	細川護照陶展																																					
企	ギャラリー白川	第2回ジャパニーズモダン 江戸から現代へ 造形作家3人展 栗本夏樹(漆造形)、大平和正(彫刻)、石川くるみ(ガラス造形)												片山雅史展																									
貸	ギャラリー翔	川端英一 御器楽音陶展						アトリエMORI造形作品展(絵画・造形作品等)						伝統工芸作家高田衣里子 ローケツ染絵画展						アトリエSIX スタンド グラス展「House」																			
貸	ギャラリー16	「あるような、ないような」 田淵麻那展(平面)(月曜休廊)						「光の趾音」-light treading the ground- 安喜万佐子(平面)(月曜休廊)																															
企	ギャラリー創	常設展 伊藤若冲、曾我蕭白、白隠、長沢芦雪、鴨居玲、熊谷守一																																					
貸	ギャラリー象鯨	常設展(貸しギャラリー受付中)																																					
貸	ギャラリー高倉通	岡田房子 洋画展(アクリル・パステル)						「ちいさきもの」展(淡彩画)						工房素生 手織展「ふわっと羽織るベスト、赤と黒」						谷野剛史展																			
貸	ギャラリーLittle House	グラハム・クラーク展						猫の宴												アンデルセン展																			
企	ギャラリー鉄齋堂	常設展(6、9、28、29休廊)												1F 伊藤彰耳作品展						常設展																			
企	ギャラリー知(とも)	アントニオ・ペドレッティ 「無限の風景たち」						マックス・パベスキ “ヒロシマから愛をこめて”																															
企	ギャラリーなかむら	砂押かほる展(洋画)(月曜休廊)												中原史雄展(洋画)(月曜休廊)																									
貸	ギャラリー中井	斎藤こと展						野村昌司展						IRODIRI展 今倉、江本、小田、岡西、下						結晶展																			
企	ギャラリー白梅園	白崎信子ガラス作品常設展																																					
貸	ギャラリーヒルゲート	1F	近藤 弘子展	日下部直起展 二紀会会員(油彩・テンペラ・水彩)						石田歩・真弓・由展(インスタレーション・水彩)						中原史雄先生企画 25人の絵展						新制作会員展 小林一彦・一居孝明 上岡真志、他																	
貸	ギャラリー美楽堂	2F	新藤 多賀																																				
企	ギャラリー美楽堂	日本画常設展																																					

【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛
企 GALLERY FUKUMI SHIMURA 左京区岡崎神宮道西側 746-3303		志村ふくみ・洋子 作品常設																														
貸 企 ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	金 妍	水野靖之陶展					吉原和恵展 (平面) (16日休廊)										陶画塾展 (平面)														
	4F	高村総二郎展 (日本画) 月曜休廊					平塚景堂展 (平面)					岩崎絵里展 (日本画) (23日休廊)																				
	5F	0.展	山本あづみ展 (日本画)					久世健二展 (陶) (23日休廊)																								
貸 企 ギャラリーみすや 中京区三条河原町西入 211-5997	定 展	豊旗会 宝石・貴金属					山根須磨子 絵画教室					花夢展 服飾					三人展					服部工房 染・織・フェルト										
企 ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348		朝のリビング 寄神盛衛展					陣七海世界で唯ひとつ の帯地バッグ展										三人展 首藤成利 (木彫) 仲恵子 (油彩) 生島庸子 (アクリル画)					高木唯可水彩画展										
企 ギャラリー洛中洛外 山科区清水焼団地内 595-5450		浅井睦子・村田匠也・竹村陽太郎 三人展 「三つの焼きと形」																														
企 貸 ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700		第30回 龍馬追悼展 (水曜休廊)																														
企 ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110		常設展					常設展					小山智徳織部展										常設展										
企 ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321		生 (き) のままの軌跡 ドワイト・マッキントッシュ日本初個展 (月曜休)																														
企 貸 ギャラリー百音 (もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138		アンティークマイセン・ガレ・ドーム&秋の茶道具50碗展 9日 (月) 16日 (月) 休廊																														
貸 企 ギャリエ ヤマシタ 中京区寺町三条上ル 231-6505	1号館	1F	イ ジ 展	コバルトブルーの会 (油彩)					日洋会京滋支部展 (絵画)					科の会 木版画展					横茂精敏 ～飾り気なく慎み深い～													
	2号館	2F	も 池 村	第19回聴会 透明水彩画作品展					グループコスモス (洋画)					優遊展 (日本画)					LUA展 (油絵)													
貸 企 京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	1号館	1F	勝 高 月	第12回KOKU・IT'TEN II (京都教育大卒業生)					千代田利行水彩画展					日本水彩京都支部 小品展					楽描会 (色エンピツ画)													
	2号館	2F	鈴 川 子	竹内淳子 オープン・アトリエ作品展					かもしか会 (日本画)										竹笹堂 木版画教室展 2015													
企 京都芸大ギャラリーアーク 中京区御池通堀川東入 334-2204		タデウシユ・カントル生誕100周年記念事業 「死の劇場-カントルへのオマージュ」 2日 (月) 9日 (月) 休廊															大美術館を活用した美術工芸分野新人アーティスト育成 プロジェクト谷澤展 24日 (火) 30日 (月) 休 岡崎和郎/大西伸明 Born Twice 24日 (火) 30日 (月) 休															
企 京都芸術センター 中京区室町蛸薬師下ル 213-1000		Ori-rythm III 染と織					アン・リスレゴ展																									
企 京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305		近代京都画壇の名品にみる・日本画 余白の美 (水曜休廊)																														
貸 企 京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F	京都テーブルウェアコレクション in 京都陶磁器会館 ～琳派意匠を継ぐ器展～ (木曜休廊)										常設展示 (木曜休廊)										色絵陶芸展					北川宏幸展 (木曜休廊)					
	2F	「わん・碗・ONE展～時代を担う若者の作品展～」 (木曜休廊)																									常設展 (木曜休廊)					
貸 企 京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東河院東入 254-7902		こども万華鏡大賞公募展										布の3Dアート展					山城高校15回生 作品展					辻武夫展 芸画展					保事協フォトクラブ 第12回写真展 30日 (月) 休					
企 COHJU contemporary art 中京区丸太町寺町西 256-4707	1F	ギャラリー改修の為休廊																														
貸 企 堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636		興 有 玲	橋本明子日本画展					加藤幸治 加藤尚子 作陶展					ガーディアンエンジェル 鬼塚哲朗 柿沼忍昭					伊藤五美陶展														
貸 企 里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423		常設展																														
企 蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232		常設展 (日祝休廊)					中西良展 (会期中無休)										常設展 (日祝休廊)					土井沙織展 ～カーテンの奥～										
企 大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388		常設展 (コンセプトチュアルリズムアート) (日祝休廊)										嘴矢祭-其之九十六- 植葉香澄展										常設展 (コンセプトチュアルリズムアート) (日祝休廊)										
企 梅軒画廊 中京区烏丸四条上ル 221-3510		日本画・洋画・常設展 (日祝休廊)																														
貸 企 ポルタギャラリー華 下京区京都駅前地下街 365-7533		小嶋直子ビスクドール展					近藤富士金箔芸の世界展										佐々木真弓スタンドグラス展															
企 星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670		明治・大正・昭和 名作発掘品展 (日・月休廊)																														
企 松本松栄堂 中京区寺町夷川上ル 212-0626		新・古書画常設展																														
貸 企 まるごのギャラリー 中京区姉小路寺町東入 744-0105		風・恋・花 清家正信 写真展 (水曜休廊)																														
企 村田画廊 左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960		常設展 (火曜・祝休廊)																														
貸 企 ヤマトギャラリー 中京区姉小路寺町東入 231-2341		樋上千哲作品展 (ろう染) (陶彫)																				京都産業大学 写真部2次生秋展 「わたしの名前」										

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895)
 [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。
<http://www.kyoto-art.net/>